

# 駒澤大学 vs 筑波大学

10月26日(日)  
13:50K.O.  
古河

前期リーグの途中から、粘り強い戦いで上位チームを苦しめてきた駒大。前節は前期の対戦で大量6失点を喫している専大が相手だっただけに、借りを返す気持ちは強かったが、結果は3-5の敗戦。

「前半は最悪だった。ボールを保持しても、いとも簡単に取られてしまい力の差を感じた」(秋田浩一監督)

もともと守備の部分はチーム全体の課題としているところだが、ここ2試合で8失点。

「もう少し粘り強くボールにくらいついていければ、大量失点を防げたと思う」(秋田監督)

というように、泥臭いプレーが必要になってくる。

逆に、攻撃面では3ゴールと好調。

「シュート自体はよかった。一概にすごかったとはいえないが、狙いどおりにやれた」(秋田監督)

現在7位だが、5位の国士大と同ポイント。インカレ出場に向けて、残り4試合も勝ち切っていきたい。

ここ数試合、結果だけを求めて戦ってきた筑波大。前節の国士大との一戦は、その結果がようやく出て3-1の勝利。後期2勝目を挙げて、ここから一気に連勝といきたいところだ。

「内容はいつもと変わらないし、今までどおりやってき

たことを継続した中で結果が出せたので、今日が特別よかったことはないと思う」

と、小井土正亮ヘッドコーチは冷静。確かにこの試合に勝ったことも大事だが、順位は11位と降格圏内のまま。この試合で勝ちきれぬかが、残留へ向けての大きなポイント。そのためには前節、3-0としながら後半45分に失点をした守備面を整備したい。

**出場停止：車屋紳太郎 警告3回：川岸祐輔、伊藤慎人、平野篤志、斎藤純平、柳川剛輝(以上駒大)、西村洋平、若杉拓哉(以上筑波大)**  
**前期の対戦：駒大4-3(シュート数12-9)筑波大**

駒大		筑波大	
16. 柳川	11. 小牧	28. 吉川	6. 片岡
4. 平尾	10. 板倉		8. 早川
21. 積田	5. 伊藤	12. 菊池	17. 中野誠
			13. 齋藤
			26. 戸嶋
3. 川岸	14. 中村		18. 三宅
			5. 西村
13. 大木	7. 平野	10. 中野嘉	3. 三丸

# 明治大学 vs 桐蔭横浜大学

10月26日(日)  
13:50K.O.  
保土ヶ谷

17節で駒大に引き分け、連勝街道がストップした明大。その影響が心配されたが、前節の東国大戦は3-0のシャットアウト勝ち。しかも、前半33分に退場者を出しての結果だけに、その強さを感じる。

「気持ちの面で負けない、決めるべきところで決めることを確認して試合に臨んだ。あとは、基本的な球際で負けないことや、運動量を落とさないことを確認した。これまでやってきた守備のところも、この1週間で再確認した今日のゲームでも出すことができていたことはよかった」(栗田大輔助監督)

10人になっても、一人ひとりがやるべきことをしっかりとこなし、チームとしての力を発揮した。それでも栗田助監督は、優勝に向けて気持ちを引き締める。

「決定力不足。決めるべきところで決められなかったことは、修正していかなければならない。細かいところの止める、蹴るの技術や、ボックスの中に入ってから攻撃の仕掛けは、継続してやっていかなければならない」

順大に0-2の敗戦を喫した桐蔭大。9位に位置しているものの、まだまだ残留が確定したわけではない、下位のチームが奮闘しているだけに油断は禁物。

「相手に運動量や切り替えの速さ、球際の強さを見せつ

けられた。非常に勉強になる試合だった」(八城修監督)

自分たちである程度ボールを保持し、粘り強く戦うことができていたが、そこでゴールを奪えなかった。何より、前半8分という失点の時間が早すぎたのは問題。

「早い段階で失点して、ゲームが苦しくなりました。自分たちのミスから追加点を奪われて、勝点を取るチャンスを失ってしまった」(八城監督)

**出場停止：矢島倫太郎(明大)、岡本洵(桐蔭大)**  
**警告3回：小谷光毅(明大)、金子雄祐(桐蔭大)**  
**前期の対戦：明大4-1(シュート数12-5)桐蔭大**

明大		桐蔭大	
6. 高橋	8. 石原	9. 今関	3. 石堂
5. 松藤	29. 土居	11. 石川	4. 古澤
	7. 差波		12. 金子
1. 三浦			21. 田中
	18. 苅部		6. 福島
3. 山越	11. 藤本	25. 鈴木	24. 時田
2. 室屋	10. 和泉	7. 山根	28. 中島

## JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.19 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## ラスト4試合、激闘が続く！

残すところ4試合となった「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。優勝争いはもちろんのこと、インカレ出場、残留争いといずれも熾烈な戦いを繰り広げているだけに、一瞬たりとも見逃せない状況だ。首位を走りながらも、ここところ守備が不安定な順大。前節は桐蔭大とのゲームだったが、前半8分に先制点を奪うと、試合終了直前の後半41分にも追加点。2-0で勝利を収めた。無失点に抑えられたことは、順大にとって大きいだろう。桐蔭大は連敗を喫してしまった。

2位の専大にも明るい兆しが見えてきた。前節の駒大戦では開始2分にゴールを奪うと、パワー全開。6分に追いつかれたものの8分、9分と電光石火でゴールを奪い、試合を優位に進めた。前半は5-3の乱打戦となったが、後半は両者ノーゴールと一転。それでも専大が駒大を押し切り連勝を飾った。点を取れるようになってきたのは、残り4試合に向けてプラス材料だ。駒大は守備が崩壊してしまった。

後期負けなしの明大は、残留争いに苦む東国大とのゲームだったが、必死の東国大を尻目に着々と加点。前半33分に退場者を出すアクシデントがあったものの、3-0で東国大を下した。残り4試合、明大が敗れることはあるのだろうか。

優勝争いに残るためには絶対に負けれない早大だったが、前節は流経大に0-1の完封負けを喫してしまった。これで早大は、優勝争いから一歩後退。

### 得点ランキング

前澤 甲気(専大)	11点
藤本 佳希(明大)	10点
山根 視来(桐蔭大)	8点
平松 宗(国士大)	8点
佐野 翼(順大)	8点

### アシストランキング

板倉 直紀(駒大)	6アシスト
仲川 輝人(専大)	6アシスト
差波 優人(明大)	6アシスト
北出 雄星(専大)	5アシスト
新井 純平(早大)	5アシスト
堀田 稜(早大)	5アシスト

流経大は残留争いから抜け出したといっていいたいだろう。後期に入って元気がない慶大は、降格圏内の最下位にいる中大とのゲーム。相手の気迫に押されたの後半37分、アディショナルタイムに失点を、0-2の敗戦となってしまった。中大はあきらめない姿勢が、勝点3を生んだ。国士大 vs 筑波大は、立ち上がりから筑波大のペース。12分、30分、後半4と3点を奪った。試合終了間際に国士大も1点を返したが、反撃もそこまで。筑波大が3-1で国士大を下し、これで10位・東国大、11位・筑波大、12位・中大が勝点1差ずつとなった。

今後、上位、下位のつづき合いも多くなるだけに、ますます混沌としたリーグ戦となりそうだ。最後に笑うのは果たして!?

## JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	順大	専大	明大	早大	国士大	慶大	駒大	流経大	桐蔭大	東国大	筑波大	中大	勝数	敗数	総得点	総失点	得失点差	勝点	
1	順大	201 11月16日	0Δ0 11月9日	0Δ0 10月25日	201 11月2日	0●1 10月1日	100 10月1日	301 10月1日	401 10月1日	2Δ2 10月1日	200 10月1日	201 10月1日	12	4	2	34	16	18	40
2	専大	1●2 味フイ西	1Δ1 1●3 11月9日	300 10月26日	200 11月2日	2Δ2 503 11月2日	600 1Δ1 10月1日	201 10月1日	502 0●1 10月1日	200 2Δ2 10月1日	200 100 602	402 602	11	4	3	46	22	24	37
3	明大	0Δ0 1Δ1 夢の島	301		11月2日	11月15日	401 3Δ3 100 10月26日	100 10月26日	100 10月26日	300 100 201	100 100 201	201 100 201	11	4	3	33	17	16	37
4	早大	0Δ0 早大G	0●3 BMWス	1●2 中大G		301 100 11月16日	200 2Δ2 100 11月16日	301 2Δ2 0●1 10月1日	1Δ1 301 10月1日	0Δ0 100 0●1 100	200 100 200	201 200	10	4	4	24	14	10	34
5	国士大	1●2 フクアリ	0●2 味フイ西	302 0●1	1●3 0●1		0Δ0 1Δ1 201	2Δ2 201 4Δ4 11月9日	201 100 100	1Δ1 100 100	300 100 100	501 501	7	6	5	30	26	4	27
6	慶大	100 0●1	2Δ2 フクアリ	200 1●4	0●2 味フイ西	0Δ0 1Δ1		200 11月8日	0Δ0 10月26日	300 200 0Δ0	0●2 2Δ2 200	201 201 0●2	7	6	5	19	17	2	27
7	駒大	0●1 100	0●6 305	0●2 3Δ3	1●3 2Δ2	2Δ2 1●2	0●2 江戸陸		300 11月15日	302 402	100 302	403 10月26日	8	3	7	33	38	-5	27
8	流経大	1●3 2●3	1●2 1Δ1	100 0●1	100 4Δ4	1●2 100	0Δ0 味フイ西	0●3 ゼットエーオリフ		1●2 10月1日	403 100	0●1 100	5	4	9	21	30	-9	19
9	桐蔭大	1●4 0●2	205 100	1●4 保土ヶ谷	0Δ0 1●3	0●1 BMWス	0●3 0●2	201 204	201 401		200 11月15日	100 100	5	1	12	23	39	-16	16
10	東国大	2Δ2 3Δ3	0●2 2Δ2	0●1 0●3	0●2 0●1	1Δ1 1Δ1	200 0Δ0	304 203	0●2 古河		1Δ1 古河	100 100	2	7	9	18	29	-11	13
11	筑波大	0●2 2●3	0●2 0●1	1●3 0●1	0●3 100	0●3 301	0●1 2Δ2	304 古河	100 0●1	103 古河	1Δ1 たつこの	0Δ0 11月15日	3	3	12	15	29	-14	12
12	中大	1●2 0●4	204 206	1Δ1 1●2	1●2 0●2	1●2 105	1●2 200	1●2 中大G	0●1 たつこの	301 201	0●1 東国大G	0Δ0 古河	3	2	13	19	38	-19	11

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

# 自分のフィールドを探そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

# 順天堂大学 vs 早稲田大学

10月25日(土)  
13:50K.O.  
早大G

何とか首位をキープしている順大だが、ここのところ2試合で5失点と守備が乱調。完封ができなくなっただけに、

「チームコンセプトをちゃんと見直そうということで、ゲームに臨んだ」(吉村雅文監督)

初心に返り臨んだ前節の桐蔭大戦は2-0と、5試合ぶりの完封を手にした。

「失点を食らわなかったのは、評価したい」(吉村監督)

ただ、前半はまずまずのゲーム運びだったが、後半にバタバタしてしまったのは反省点。

「90分間コンセプトをまっとうできるゲームができたらいいと思う」(吉村監督)

首位という追われる立場で、ここから上位チームとの対戦が続く。一瞬もスキを見せられない戦いだ。

「ここからの4戦で、今年追求してきたことをチームとして出せるか。みんなで楽しみながら、『ここで頑張るんだ』という気持ちでやってくれたら、もっと成長できるので期待したい」(吉村監督)

逆に、ここで負ければ優勝に赤信号が灯るのが早大だ。

前節は流経大に0-1と手痛い敗戦。

「自分たちの戦い方は貫き通せたと思うが、得点を奪うことができなかったのがすべてだ」(古賀聡監督)

上向きと見られた攻撃陣も、この日は沈黙。

「一つの競り合いや球際の勝負など、戦う部分に関しては相手に負けていなかったと思う。そういった部分は出せた。一方でクロスを何本も上げているが、実際にそこからフィニッシュにつながったものはほとんどなかった。攻撃の質を高めていきたい」(古賀監督)

警告3回:佐野翼(順大)、堀田稔(早大)

前期の対戦:順大0-0(シュート数4-3)早大

順大		早大	
13. 宮本	11. 米田	7. 近藤貴	5. 新井
4. 谷奥	6. 長谷川涼	9. 宮本	3. 田中
21. 大畑	9. 佐野	2. 奥山	1. 松澤
	10. 長谷川竜		10. 近藤洋
	7. 内山	14. 山内	4. 金沢
5. 新井		8. 堀田	12. 八角
27. 毛利	15. 青木		

# 慶應義塾大学 vs 流通経済大学

10月26日(日)  
11:30K.O.  
味フィ西

前期の元気はどこにいったのか――。後期の慶大は思うような結果が残せていない。前節は最下位の中大との一戦だったが、残留争いの渦中にある相手の勢いに飲まれてしまった。

「チームの雰囲気がかかった。勝てる気がしないというか、点が入る気がしない、そんなゲームだった」(須田芳正監督)

これで6試合勝ち星なし(3分3敗)と、苦しい状況に陥っている。

「攻撃の大胆さがなかったのと、練習はしてきたのにセットプレーから点を取られてしまった。セットプレーは攻守に渡って、もう一度確認するべきところ」

須田監督が口を酸っぱくして話しているセットプレーの部分で、なかなか改善が見られないだけに、「新しい選手を何人か使って、チームの雰囲気を変えて戦いたい」(須田監督)

という荒療治も必要か。

早大との対戦の前、

「この試合は絶対に勝つ」

と自信満々だった中野雄二監督だが、その言葉どおり1-0で早大を組み伏せた。

「17節の国士大戦は4-4で4失点もしてしまった。今日の試合では無失点だったので、守備面は修正できたのではないかなと思う」(中野監督)

もともと今シーズン、守備の部分は丁寧に積み重ねてやってきただけに、自分たちの戦いができれば安定感はある。一方で、

「課題がなかったわけではないが、成果だと思う。引き続き、負けたくないサッカーをしたい」(中野監督)

出場停止:鈴木翔登(流経大) 警告3回:溝淵雄志(慶大)、古波津辰希(流経大)

前期の対戦:慶大0-0(シュート数9-5)流経大

慶大		流経大	
14. 井上	7. 川田	7. 森保	2. 湯澤
2. 久保	10. 端山	13. 山岸	27. 塚川
	8. 山浦		25. 古波津
1. 峯			21. 吉田
	18. 浅間		6. 富田
6. 望月	9. 宮地	20. 江坂	18. 今津
4. 保田	11. 増田	29. 渡邊	26. 藤原

# 東京国際大学 vs 中央大学

10月25日(土)  
13:50K.O.  
東国大G

残留に向けて、厳しい立場に追い込まれてきた東国大。現在の順位は残留圏内の10位だが、11位の筑波大との勝点差はわずかに1。足音が聞こえてきただけに、まずは最下位の中大をここでしっかりとたたきたい。

前節は好調な明大を前に、手も足も出なかった。前半33分と比較的早い時間に、明大に退場者が出たにも関わらずだ。

「相手が上位チームで力的にも明大のほうが上というのはわかっていたので、前半をゼロで抑えて何とかしのぎたかった」(鈴木康仁コーチ)

というゲームプランだったが、前半23分で失点。

「守備面はセットプレーで2失点している。そこは修正しなければいけない」(鈴木コーチ)

全体的には明大のペースだったが、その中でも少しはいいペースでボールを運べた時間帯もあった。これを継続していきたい。

「これからは負けられない戦いが続く。ここからもう一度切り替えて戦っていきたい」(鈴木コーチ)

長く、苦しい戦いが続いている中大。17節では専大に2-6の大敗を喫し、厳しい状況に追い込まれたが、そこで決して下を向かなかった。18節の慶大戦では0

-0の時間が長く続いたが、じれることなくプレーし、後半37分とアディショナルタイム2分にゴールを奪って2-0で勝利を収めた。

「素直に勝ててよかった。失点をしないというところから、守備を見直して全員でどう守るか考えた結果だと思う」(佐藤健監督)

ただ、最下位なのは変わらない。ここから勝ち続けていくしか、残留の道はない。

警告3回:福島遼、舛田将太郎(以上東国大)、岡崎亮平(中大)

前期の対戦:東国大1-0(シュート数2-5)中大

東国大		中大	
12. 国井	6. 新聞	11. 古橋	6. 鴨池
5. 鈴木	4. 加藤		5. 岡崎
	23. 成田		34. 早坂
21. 今野		9. 内田	10. 砂川
	16. 森		8. 三島
15. 舛田	24. 樋尾		12. 小出
2. 大森	8. 上船	23. 翁長	2. 縣

# 専修大学 vs 国士舘大学

10月26日(日)  
13:50K.O.  
味フィ西

専大の強さが戻ってきた。17節では中大を相手に大量6ゴール。前節も駒大に5-3の勝利と、攻撃陣に力強さが出てきたのは大きな収穫だ。

ただ、その2試合で5失点と、チームのバランスという部分ではやや不安定。

「後半は若干落ち着いた感じがあったが、お互いのミス合戦のような大雑把なゲームだった。お互いの準備の悪さが目立った末の、合計8ゴールというスコアだったと思う」(岩淵弘幹コーチ)

自分たちの意図した展開ではなかったし、「チームとしてもっと前に出ていかななくてはならない」(岩淵監督)

という反省点もある。しかも、この試合で1得点1アシストの活躍を見せた、攻撃の中心選手である仲川輝人(4年)が負傷。今季絶望となった。攻撃面での影響が心配されるが、残り4試合は全員で乗り切る構え。優勝を目指して、専大本来の攻撃を披露したい。

後期に入って、好不調の波が激しい国士大。前節の筑波大戦は1-3の敗戦だった。

「相手のボールの保持に対して連動してなくて、どんどん前が遠くなって、ますます相手にボールを動かされ

てしまった。もう少しミスを恐れずにいかなければダメだと思う。われわれのいいところを、自分たちでなくしてしまった」(細田三二監督)

強気な姿勢が薄れ、やや全体的に守りに入っている点

が気がかりだ。「ボールを取ってから次の展開までが遅く、相手のボールに対してトライが足りなかった」(細田監督)

インカレ出場のためには負けられない試合が続く。

警告3回:萩間大樹(専大)、海野智之、松本和樹、進藤誠司(以上国士大)

前期の対戦:専大2-0(シュート数6-7)国士大

専大		国士大	
5. 小口	20. 中村	14. 佐々木	25. 中村
6. 河津		20. 山口	5. 仲島
	40. 後藤		6. 海野
1. 福島	8. 星野	9. 山川	1. 小澤
	7. 北出		8. 松本
3. 萩間		11. 平松	4. 今瀬
2. 北爪	14. 佐藤	10. 進藤	2. 藤崎